

敷地6坪の狭小住宅の改修事例

～「お帰りなさい」って、やっと言えたね～

■ 作品概要				
主な改修内容	間仕切り壁撤去による間取り変更、扉の交換			
<プランのポイント>				
1	狭小住宅の介護リフォーム	2	介護軽減	3
				リフト計画

【工事前】



【工事後】



■ お客様情報												
お客様ニシナル(氏・名の順)	O・M	性別	女性	年齢	77歳	都道府県	東京都	居住形態	家族(親族)同居	疾病名	胸椎椎間板M7、胸髓損傷	
要介護	要介護4	身体状況・障害内容等	対麻痺 下肢運動障害、感覚障害、尿路・腸管機能障害				お困りごと・ご要望	部屋が狭いため退院後の生活空間が無い。退院後に1階で生活が出来るよう住環境を整備。介護ベッドを置き、介護がしやすいようにして欲しい。また外出が出来るようにして、デイサービスに行ける様にしたい。たまには夫婦で気兼ねなく外出できれば、カラオケに二人で出かけた				
<工事前後での生活の変化>						<お喜びの声>						
入院から1年8ヶ月のぶりに自宅で戻る事ができ、自宅での介護をサポートする事が出来た。入院中は主介護者のご主人は仕事と見舞いの二重生活を行っていたが、奥様の入院前の生活リズムに戻る事ができた。						ようやく長い入院を経て自宅での生活が再開出来ました。不自由な身ではあるが、自宅でリハビリを続け、今の身体でも何か妻として自分で出来る事をしたいと思う。まだベッドから離れられる時間は短いですが、今後外出の機会を増やし、地域交流の場にも参加して頂けるようにしたい。まずはもう無理かもしれないと思った『自分の家で気兼ねなく大好きな韓国ドラマが見る』事が実現して嬉しい。何より我が家が一番、そして毎日『お帰りなさい』と、家族を家で出迎えられる幸せを改めて感じている。						

■ 介護情報											
介護保険利用目的	介助負担軽減	介護保険の利用内容(住改以外)	レンタル	特殊寝台、付属品、車椅子、スロープ、床ずれ防止、移乗シート	用品	その他	主たる介護者	夫			

■ 建築情報											
所有形式	持家・一戸建	構造	木造在来	築年数	17年						

■ 工事情報																
現調日	平成24年4月21日	完工日	平成24年8月30日	設計期間(初回視察～受注)	60日間	工事期間(着工～完工)	20日間	工事規模	50万～300万円未満							
工事部位	居室	玄関				介護以外のリフォームジャンル	その他									
費用総額	250万	円	費用内訳	介護保険	20万	円	行政助成金	¥0-	円	日常生活用具給付	¥0-	円	その他	自己費用	230万	円

＜総合的状況＞				
利用者の 身体状況	<p>既往歴 20歳代虫垂炎、40歳代子宮筋腫、65歳 高血圧症、糖尿病、排尿障害 膝関節痛のため杖歩行。</p> <p>平成23年12月18日転倒による、胸椎椎間板ヘルニアと胸髄損傷のため、左下肢麻痺が出現し緊急入院となる。</p> <p>後方固定術と骨移植術を実施、1年3ヶ月入院後、リハビリのため転院。 現在、車椅子での座位は30分程可能。両手は使えるがプッシュアップは出来ない。</p> <p>尿・便意無しのため排尿はバルーン留置、排便は適時下剤と摘便併用し、オムツ対応。体温調整が出来ない。</p> <p>病院では入浴はストレッチャーにて機械浴全介助、移乗はトランスファーボードを使用して二人介助。</p> <p>移動は室内外とも車椅子にて全介助。</p>	福祉用具の現状の利用状況と		
		住宅改修の想定	改修前	改修後
		●車いす	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		●特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		●床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		●体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
介護状況	<p>夫と娘の三人暮らし。事故前は家事全般を行う専業主婦だった。</p> <p>ご主人は馬の調教師のためレースに合わせた生活を行っている(深夜1時～朝6時まで出勤、朝7時～昼12時まで就寝、午後13時～20時まで出勤、21時～0時就寝)</p> <p>娘様は獣医師、朝7時～夜21時まで出勤で、家族による介護は難しい。 またご主人は初めての介護で不安が大きい。</p>	●スロープ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		●歩行器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●歩行補助づえ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●認知症老人徘徊感知機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	<p>事故前の暮らしは2階が寝室で、1階が台所・居間を含む浴室・トイレ・洗面の水廻りであった。</p> <p>敷地が20㎡(6坪)、1階と2階が各14㎡(4坪)と狭小住宅のため、1階に介護ベッドを設置出来ないと、退院して自宅での生活が出来ない。現状の玄関は開戸で、短い廊下を直角に曲がらないと1階に入れないため、車椅子での出入りが困難である。</p> <p>生活環境を車椅子で生活できるように改善して、病院から退院して在宅看護が出来るようにする。</p> <p>本人は家事を行いたいとの希望があるが、感覚障害があるため、煮焼きする調理は行わせたくないとの病院及びCMの指示あり。</p> <p>また大好きな韓国ドラマを観たいとの希望があり、ご主人からは本人が希望を持てるように、1階にトイレと浴室とキッチンを置いておいて欲しいとの要望有り。また夫婦だけで外出出来るようになったら、二人共大好きなカラオケに奥様を連れて行きたいとの夢がある。</p> <p>限りあるスペースで無理なく看護及び介護作業が出来る様にして、今後ご主人が体力が衰えた時にも、現在の生活が続けられるように配慮する。</p> <p>改修を行い、途切れていた母(妻)を囲む家族の日常を取り戻し、生きがい作りが見出せるようにしたい。</p>	●特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		●	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

活動内容	工事内容	工事前ADL	工事後ADL	主な設備機器	工事後の変化		
排泄	介助者が容易に排泄の処理が行えるように、扉開口を大きく入りやすくする	全介助	全介助	2枚連動引戸	排泄物の処理が楽に出来る狭い入浴周りも、扉を開けると洗面側の入浴スペースが使えると広く介助しやすくなった		
入浴	シャワー浴がリフトにて行えるように、扉を折戸に替えて入りやすくする	全介助	全介助	折戸 暖房機 (将来リフト) つるべ	※体調安定せず 自宅入浴は今後		
外出	扉の位置を替えて、室内への動線を短くして、開戸を引戸に替えて開口幅を大きくしてスロープで車椅子で出入り出来るようにする	全介助	全介助	2枚連動引戸 スロープ(リフト) (将来リフト)	リフトのスロープを使用して、介助者ひとりでも外出にお連れする事が出来るようになった		
その他の活動							
住宅改修後の目標	<p>体調が安定したら、リフト(つるべ)を使うかまたは車椅子がシャワーキャリーで浴室まで移動して、洗い場でシャワー浴を行う。</p> <p>現在はスロープで外出しているが、介助者の体力低下が出たら、外出もリフト(つるべ)を使用して、車ごと屋外に出られる様にする</p>	達成状況区分					
		達成	まもなく	やや達成	努力中	未達成	確認中
		◎					
お客様の様子生活状況	<p>自宅での生活を再開出来た事が、喜びであるご様子。</p> <p>ベッドから観るテレビも快適にご使用頂けている様で、まずは大好きな韓流ドラマを、自宅で観ると言う目標は、達成出来ました。</p> <p>時間帯の異なる家族の中、水廻りに近い場所に寝室があるので、睡眠障害にならないか心配致しましたが、思ったより気にならないとの事です。</p> <p>必ず奥様(お母様)を横にしての食事のため、家族の会話が増えたとの事です。</p>						
ケアマネ様へお客様より							
その他(新たな要望課題など)							